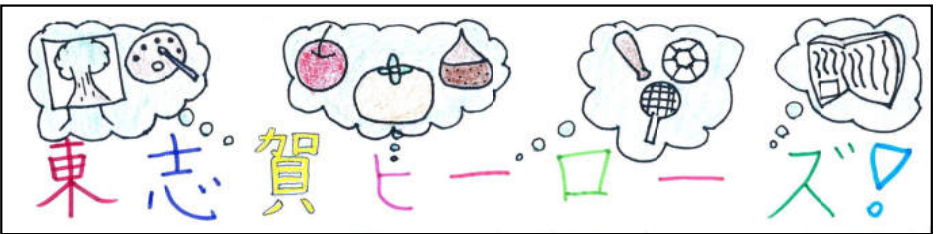


2022年(令和4年)
9月(第16号)
発行:東志賀学区
連絡協議会



3年ぶりに熱い夜が帰ってきた!新型コロナ禍で2年連続で中止されていた学区ふれあい盆踊り大会が8月6日、東志賀小で開催され、大勢の住民でにぎわいました。浴衣姿で踊る多世代の住民の輪。縁日に列をつくる子どもたち。盆踊り復活の舞台裏には、運営に携わったたくさんの住民の苦勞、そして地元への熱い思いがありました。

思い詰まった盆踊り

子どもに夏の思い出を、住民の交流の場を:



成長にも良くない。運営に関わった多くの住民を代表して、学区長の山崎悦男さんは盆踊り復活への思いを語ります。

上の写真で太鼓を叩くのは、トワイライトスクールで教わった子どもたちです。輪になって楽しそうに踊る大人と子ども。女性の会は事前に踊りの練習会を企画してくれました。

左の写真は、子ども会や学童保育所の保護者らが企画した縁日の参加カードを配るブースです。カードを首からぶら下げるためのひもを通す作業は、カフェ



「夏休みは子どもたちにとって一番楽しい時間。思い出に残るイベントがない状況は、

おどりま賞・縁日カード 3年ぶり開催で新企画も



サロンの関係者や民生委員らがお手伝いしました。新たに始めた「おどりま賞」のプレゼントは、より多くの住民に踊りを通じて交流してもらおうことが狙いで、大好評でした。会場準備は当日朝から学区や各種団体の役員、町内会長、保護者らが担いました。設営中には激しい雨も。役員たちは雨宿りのため、「子どもたちのために何とか今夜、開催



「子どもたちが良い顔をしていた」。そう話すが漂っていました。

「アーバン夏祭り」も7月末に開かれ、住民が3年ぶりの交流行事を楽しみました。団地の5町内会が主催し、志賀学童保育所、子ども会、めいほく鳩岡の家が店で協力。火踊り(LEDライト使用)を披露した学童の子どもたちは「緊張したけど、見てもらえてうれしかった」と喜んでいました。実行委員長の池山義治さん(アーバン第2町内会長)は「久しぶりに住民同士が顔を合わせる事ができた。予想以上の人出で開催して良かった」と話していました。

アーバン夏祭りも復活

今月の題字
9月号には東志賀小の2人が応募してくれました。1ページ目は5年の上戸咲乃さんの作品。芸術、果物、スポーツ、読書、秋満載のイラストです。2ページ目は3年の松原奈緒さんの作品。お月見するウサギさんを可愛らしく描いてくれました。詳しい応募方法は、編集部の鈴木(連絡先は裏面)までお問い合わせください。



電子版新聞
QRコード



「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

兒子八幡社 にぎわいを！

11/27 兒子宮市を開催

地元の神社を住民の交流の場として活用しよう！ 東志賀学区の兒子八幡社（志賀町1）を盛り上げるため、有志のチームが発足しました。日ごろ、神社を守ってくれている総代さんの協力も得ながら、11月27日（日）に住民がハンドメイドの作品などを販売する兒子宮市（通称・ちごいち）を企画しています。（記事・有志の会）

有志チームマルシェ企画

「神社を使って楽しいイベントを開けないか」。昨年、住民の交流や健康づくりなどの課題を話し合う「健康つながりまちカルテ」という場でそんな意見が出されました。提案を形にしようと、子育て世代を含め、幅広い年代の有志チームが結成されました。

「にぎわいづくりの第一弾として、企画されたのが「兒子宮市」。「マルシェ」市場の方法で、思い思いの作品などを販売するブースを住民の方に出店してもらいたいと考えています。出店の経験が少ない子どもやお年寄りには、有志のメンバーがサポートします。フリーマーケット（おゆずり会）も計画しています。「ちごいち有志の会」のリーダー、神藤幸美



写真④ 総代さんの案内で兒子八幡社を見学する有志チームのメンバー、写真⑤ 日ごろから境内の草取りをしている総代さんたち

さんと天野美帆さんは「住民の皆さんが兒子八幡社のことをよく知る機会になつてほしい。今後、総代さんと協力して、住民が楽しく集える企画を考えていきたい」と意気込んでいます。総代の佐々木征一郎会長は「神社を活用したいという提案はありがたい。地域の全員が神社に目を向けてくれたらうれしい」と話しています。出店者募集の情報など、「ちごいち」の詳細は今後、東志賀ヒーローズでお伝えします。

OB野球 北区代表



北区OB軟式野球大会で、東志賀学区チームが準優勝に輝きました。北区代表として出場した市民スポーツ祭

では、初戦で優勝チームの港区に惜敗してしまいました。が、パロマ瑞穂野球場で熱戦を繰り広げました。

東志賀は、高齢者のグラウンドゴルフをはじめ、スポーツが盛んな学区です。児童では、ソフトボールと野球の「ジュニアクラブ」、木製のラケットでスポンジのボールを打ち返す新スポーツ「テニボン」、フットサルや「FC MINI AMI」が学区の支援を受けて活動中です。関心のある方は、ぜひ、仲間に加わって下さい。

敬老の日 式典自粛

9月19日（祝）に予定されていた学区敬老会式典は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、中止が決定しました。お祝いの対象者には後日、学区や各町内会などを通じて、記念品をお届けします。

情報提供を

「記事になりそうな話題がある」「題字を描きたい！」という人は編集部の鈴木龍司（アーバン第1町内会長）までご連絡ください。

☎ 080 (35 02) 3534
専用メール h i g a s h i s h i g a h e r o e s @ g m a i l . c o m

2022年(令和4年)
10月(第17号)
発行:東志賀学区
連絡協議会



10月30日(日) @東志賀小

ふれあい大運動会が帰ってくる!

スポーツの秋。今年はいよいよ、学区ふれあい大運動会の興奮が帰ってきます! 新型コロナ禍で中止が続きます。開催は4年ぶり。10月30日(日)午前8時半〜午後1時まで(予備日は11月6日(日))。会場は東志賀小学校の運動場です。「子どもたちが夢中になれる場を作ってあげたい」「お年寄りに体を動かす機会を提供したい」。学区の体育委員さんを中心に、コロナ禍でも安心して楽しめる大運動会を準備しています。

4年ぶりの開催へ



8月の盆踊り大会に続き、学区の目玉行事が復活します。目的は住民同士のつながりと健康づくり。徒競走やリレーに加え、スプー

【競技種目】

- ・80m徒競走 (小学低学年)
- ・紅白玉入れ (60歳以上)
- ・100m徒競走 (小学高学年)
- ・ちびっこかけこ (未就学児)
- ・スプーンレース (各種団体)
- ・買い物競争 (一般男女)
- ・綱引き (中学生以上)
- ・紅白対抗リレー (年齢層別6人)

上の写真は過去に開催された大運動会の様子です。綱引き、かけここの興奮が伝わってきます。(学区提供)

ンレース、綱引き、玉入れなど多世代が楽しめる種目で盛り上がりましょう。新型コロナの対策として昼食はなしの短縮開催ですが、各種目の参加賞を用意し、お楽しみ大抽せん会も企画しています。会場の準備や当日の運営、進行、審判などは体育委員やジュニアスポーツ、学区の各分野で活躍する各種団体、町内会の役員らが協力します。体育委員長の坪井勉さんは「開催できることが一番の喜びです。みんな楽しんで企画を練りました。けがに気をつけ、老若男女で大いに楽しみましょう」と話しています。

祝・敬老の日



長生きしてね 記念品お届け

備や当日の運営、進行、審判などは体育委員やジュニアスポーツ、学区の各分野で活躍する各種団体、町内会の役員らが協力します。体育委員長の坪井勉さんは「開催できることが一番の喜びです。みんな楽しんで企画を練りました。けがに気をつけ、老若男女で大いに楽しみましょう」と話しています。

今月の題字
10月号の題字は東志賀小3年の中室芙希さんの作品です。子どもたちが心待ちにしているハロウィン。とつてもかわいく描いてくれました。題字の応募は、編集部(鈴木まで)メールか電話(連絡先は裏面)でお問い合わせください。

新型コロナウイルスの第7波の影響で、「敬老の日」(9月19日)の学区式典は中止を余儀なくされてしまいました。お年寄りの重症化リスクを考慮しての判断でした。「いつまでも健康に、長生きを」。そんな思いを伝えるため、学区は75歳以上の方々に記念品をお届けしました。今年の対象者は約1500人。9月初旬の休日、学区の役員や有志ら約20人がコミュニティセンターに集まり、半日がかりでお祝いの言葉や記念品、東志賀ヒーローズを封筒に詰めました。作業にはお祝いされる側の岡本茂彦さん(93)も元気に参加。各町内会の会長や役員らが手分けして、お一人一人に学区の気持ちを届けました。

役員たちは「来年こそは式典をやってあげたいね」と願っていました。高齢者の皆さん、コロナに負けず、お元気でいてください! (編集部)

町の英雄 情報求む

地元で頑張っている人、心が温かくなるハッピーニュース、イベントの告知、仲間を集めた人。情報を編集部の鈴木龍司（アーバン第1町内会長）までお寄せください。手描きの題字も募集中です。

☎080(3502)3534
専用メール
iggashih
iggashih
s@gmail.
com

電子版新聞 QRコード



これまでの「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

懐かしい映写会、紙芝居、火の見櫓

お宝写真を残そう！



兒子八幡社の記録 氏子総代が大募集

1) 兒子八幡社（志賀町）の総代会が、神社にまつわるお宝写真の募集を始めました。住民の皆さんがご持ちの懐かしい写真をデータで保管し、神社の歴史を語り継いでいくことが目的です。「自宅にこんな写真があるよ！」という方は、ぜひ、連絡してください。

一つです。「少しでも記録を残したい。今、やらないと手遅れになってしまう」。総代会は「明治」「大正」「昭和」に撮影された神社の写真を集めることを決めました。神社の近所に住む総代の長瀬忠広さん（72）は、祖父や父から受け継いだ昭和初期の写真を大切に保管しています。「お祭りの屋

台、映写会、紙芝居。火の見櫓（やぐら）にもよく上った。幼いころ、遊び場の中心でした」。今も、参拝を日課にしているそうです。提供を受けた写真は社務所でスキャンし、電子データとして神社に保管。原紙は持ち主

に返却します。現在、長瀬さんを中心に神社の写真や歴史を紹介する動画を作っています。【写真②】11月27日に予定される「兒子宮市（通称・ちごいち）」の会場でも披露する予定です。総代さんたちは

「懐かしい写真を見ながら盛り上がりた」と話しています。あなたも、ぜひ、ご自宅のアルバムなどをチェックしてみてください！お問い合わせは、総代会会長の佐々木征一郎さん ☎電080(5135)9634へ。

住民で一斉に地域を清掃する「秋の街美運動」が11月5日（土）午前8時半から9時半までそれぞれの町内で開かれます。ぜひ、参加してください。

「秋の街美」迫る

11月27日（日）兒子八幡社

ママやシニア 子ども大歓迎

「ちごいち」出店しませんか？

東志賀学区の氏神さまの「兒子八幡社」を身近に感じ、多世代交流のきっかけになるよう「兒子宮市（通称・ちごいち）」を企画しています。神社の参道沿いで、ハンドメイドや物販のマルシェを開きます。「私も出店してみたい」という方からの応募をお待ちしています。ママ友のグループやシニアの方、子どもたち、どなたも大歓迎です。「何かを作ることが大好きだけど、本格的にお店を出すのは抵抗がある...」という方にもぴったりのイベントです。出店経験のない方は有志の会がサポートいたします。



境内の参道が マルシェに！

【子どもたちへのメッセージ】「ちごいち」は、子どももお店を出せます。好きなものや、作ったものを売って一日店長になれます。お店のお手伝いをしてくれる人も募集しているので、申し込んでください。【イベント詳細】11月27日（日）午前10時～午後2時。小雨決行（悪天候中止）。出店募集数は10区画（2区四方）。出店料は1区画1000円。販売する商品の価格は0円～1000円程度。応募の締め切りは11月10日。申し込みは①QRコード（当欄左端）からアクセスして登録②コミュニティセンター備え付けの応募用紙に必要事項を記載。問い合わせは、ちごいち有志の会の天野美帆さん ☎電090(6766)9188へ。



Eメールは、
cosmos7
435@gmail.
il.com

2022年(令和4年)
11月号(第18号)
発行:東志賀学区
連絡協議会



芸術の秋 文化発信、町を笑顔に

“ご近所”の北文化小劇場

「ありがとう。涙がでるくらい感動したわ!」。北図書館2階の北文化小劇場での一コマです。東志賀学区内にある劇場は、地域の方へのホールの貸し出しや音楽、演劇といった文化芸術のイベントを開催しています。近隣の方にも公演を楽しみにしていたでいます。私たちが目指すのは「地域に根差した劇場」。皆さんに元気で楽しい気分になってもらうため、これからも様々な公演を企画していきます。(文章・北文化小劇場 高橋美妃さん)

来場者の半数以上は区内の方で、近所のリーダーさんも多くいます。「また、友人を誘って来るね」と声を掛けてくれる方もいて、やりがいを感じます。毎回、公演ごとに取るアンケートのご意見が次の企画のアイデアにつながっています。9月に開催したジャズコンサートでは「昔のジャズ『TAKES』や『A列車』もぜひ!」



【写真・上】迫力ある演奏を披露するジャズビッグバンドのメンバー 【写真・右下】マジックショーをサポートする職員さん 【写真・左下】感染防止対策を徹底しつつ、多彩なイベントを企画する職員さん

といった声をいただき、「次はこんな曲を演奏してもらおう」と考えをふくらませています。10月のマジックショーは、新型コロナ対策の規定で来場者とマジシャンの触れ合いが制限される中、リアルさをお届けするために職員で工夫し、一体感のあるイベントにすることができました。

も運営。年一回の公演に向け、劇場で練習しています。先日の北区区民まつりでも迫力ある演奏を披露しました。新型コロナで休館も余儀なくされた時期もありました。再開を待ち望んでくれていた近隣の方の支えがあるからこそ、公演が成り立っているとは度も実感させられます。

阿久悠となかにし礼が手掛けた名曲をお届けします。あの日、あの時、あの頃を思い出しながら、楽しい芸術の秋を過ごすのはいかがでしょうか。

劇場の催し情報はHPから



また、劇場では市民参加のジャズビッグバンド「イ・ポ・ラスター・ジャズ・オーケストラ」

現在は11月26日(土)に開く昭和歌謡コンサートの準備を進めています。作詞家の

今月の題字

11月号の題字は北陵中学1年の中室綴さんが応募してくれました。秋をテーマにした温かい作品に癒やされます。題字を描いてみたいという方は、編集部の鈴木にメールか電話(連絡先は裏面)で連絡してください。

今年、初めて開催される「ちごいち」が近づいてきました。11月27日(日)10時~14時。@兒子八幡社子ども達が楽しめる企画や、手芸や編み物、雑貨・ポーチ・髪飾りなどのハンドメイドのお店、手話体験のできるブース、学区の取り組み紹介+交流・休憩コーナーなどを予定しています。お散歩ついでに、神社にも参りして、是非「ちごいち」にも、遊びに来てください!

27日・いよいよ「ちごいち」おゆずり会にもご協力を!

そして「おゆずり会」も同時開催します。使わなくなったものを必要な方におゆずりませんか? ご自宅で眠っているものをぜひ、当日「ちごいち」にお持ちください。(文章・神藤幸美さん) 【お問合せ】 ちごいち有志の会 監事・天野美帆さん 090(6766)9188、谷口博子さん 090(9128)2004。Eメール c o s m o s 7 4 3 5 @ g m a i l . c o m

町の英雄 情報求む

今号は北文化小劇場さんが記事を書いてくれました。地元の名いニユースを大募集中です。情報を編集部の鈴木龍司（アーバン第1町内会長）までお寄せください。手描きの題字も受け付け中です。

☎ 080 (3502) 3534
専用メール h
igashih
igashih@
gmail.c
om

電子版新聞 QRコード



これまでの「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。

4年ぶり学区大運動会

多世代が団結 健康つながり

さわやかな秋晴れのもと、学区ふれあい大運動会が10月30日に開かれました。赤ん坊からお年寄りまで、多世代の700人が参加。紅白のチームに分かれ、和気あいあいと元気よく競技を楽しみました。大盛況だった4年ぶりの運動会を振り返ります。（編集部）



「さあ、がんばりましょう！」。大会前日、学区や町内会、各種団体の役員さん、ジュニアスポーツの保護者の方々が校庭に集結しました。本番に向けた会場作りのためです。本部テントや観客席の設営、音響の調整、景品の準備……。トラックの白線引きでは、ベテランの体育委員さんが達人技を披露。大会を陰で支えるヒーローのチームプレーが光りました。迎えた当日。町内会ごとに選手の入場です。「やったあ！ボクが持ってたあ！」誇らしげに町内会のプラカードを掲げる児童の姿が印象的でした。

体育委員さんたちは知恵を絞って、コロナ禍でも安全に、みんなでも楽しめる競技を考えてくれました。おしゃぶりを加えてママが待つゴールを目指して走るちびっ子、1等賞を取ってガッツポーズの児童、綱引きに勝ってバンザイをする赤組。クライマックスのリレーは各町内会が「絶対に勝つぞ」と声を掛け合い、白熱のレースを展開しました。観客席も近所の選手



ヘルメットで命守ろう 「コスメット隊」出動！

自転車のヘルメット着用を啓発する北区の「コスメット隊」に、東志賀学区の住民が任命されました。お揃いのヘルメットとジャンパーで交通安全を呼びかけてくれるヒーローたちです。

【隊員の皆さんへ敬称略】大澤千里、水谷光、大澤康太郎、小島香流、西谷阜、高安優羽奈（以上、東志賀小学校）、池山千津香、坪井勉、二村巖、三溝芳隆、寺澤文花

にエールを送り、大いに盛り上がりました。後片付けは町民で分担。コロナ禍でイベントの中止が続いた時期があっただけに、絶好のコミュニケーションの機会になったのではないでしょうか。

「本当に楽しかったよ」。大運動会の後日、ヒーローズ編集部の筆者は通学中の児童たちに声を掛けられました。同じ町内会でも出場したメンバーです。「また、次も運動会に出たいな」。忘れられない秋の思い出になったはずですよ。

秋の町美 住民総出

「秋の町を美しくする運動」が11月5日、開かれました。各町内会、児童のスポーツチーム、学童保育など多くの方が地元の清掃に取り組みました。

学区では毎月第1土曜日の午前8時半から、東志賀公園で「健康つながり町そうじ」を実施しています。親ばくも兼ねて、ぜひ参加してみてください。



大成功 初「ちごいち」

マルシェでつながる

学区の「兒子八幡社」で11月27日、住民の有志が企画したマルシェ「ちごいち」が初開催されました。イチョウが色づく境内には、ママ友や地域活動の団体などによるブースが並び、300人ほどの来場者でにぎわいました。全面的にバックアップしてくれた神社の総代さんも「大勢の人が神社に来てくれて大成功。定期的に開けると良いね」と喜んでくれています。

@兒子八幡社

「神社で楽しいイベントをしたい」。住民から声が上がったのは1年前。ママ世代を中心に学区の役員らも協力して企画や出店者の募集、会場の準備を進

めました。手作りの雑貨や編み物、お菓子。おゆずり会や絵本の読み聞かせ、子ども向けのゲームなど多彩な14ブースが軒を連ねました。

次はいつ？ 期待の声も

「ばあば、楽しかったね。次はいつあるの？」と女の子。「地域のつながりの場は大事だと感じた」と出店者。「子どものころにあった映画会の活気を思い出した」と年配の男性。「私、この神社で結婚式を挙げたの」と照れながら話す女性。おさい銭を入れ、手を合わせていた家族連れは「神社に来たのは初めて。良いところですね」と話していました。実行委員会の有志は「企画段階から氏子総



いらっしやいませ！

境内では子ども店員さんが大活躍してくれました。お店番やチラシ配り、アルコール消毒の案内……。大忙しでしたが、感想を聞くと、みんなそろって「楽しかったよ」。

キッズがお店番

将来、店員さんになることが夢という女の子もいました。ごほうびのお菓子をもらって、「また、やってみたい！」と元気よく帰って行きました。



代会や学区の皆さんと一緒に準備を進め、無事、開催することができました。出店者や子ども店員さんも盛り上げてくれて、素敵な時間になりました」と感謝。「今後も『ちごいち』が地域の皆さんの交流の場になるといい

お宝写真や歴史を紹介

日々、神社の手入れをしてきている氏子総代会の皆さんも、会場で神社にまつわるお宝写真や歴史の資料を披露し、来場者が興味深く見学していました。ちごいちの前日朝、実行委のメンバーらが設営で境内を訪れると、出店者や来場者のために、落ち葉を拾い集めている総代さんたちの姿がありました。

総代の佐々木征一郎会長は当日、「境内がにぎやかで、うれしい

年の瀬の安心 守る「ロー」

まだまだ新型コロナウイルスの影響が残る中、2022年が暮れようとしています。東志賀学区では消防団や防犯委員会、民生・児童委員をはじめ、各種団体の役員さんたちが年末も、地域のために活躍してくれています。活動を見かけたら、ぜひ、あいさつやお礼の言葉をかけてあげてください。

ね。地元の人にとってここが身近な場所になってくれることが願い」と笑顔でした。

町の英雄 情報求む

2022年の最終号も明るい話題で紙面を埋めることができました。来年も地元の良いニュースを大募集します。情報を編集部の鈴木龍司（アーバン第1町内会長）までお寄せください。
☎080(3502)3534
専用メール gashishigaheroes@mail.com

電子版新聞 QRコード



これまでの地域紙「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたよー」を読むことができます。

白球追う友達、集まれ！



東志賀ジュニアメンバー大募集

君も仲間だ！ 東志賀小を拠点に活動する「東志賀ジュニアクラブ」の軟式野球・ソフトボールチームは新団員を募集中です。男女約20人の児童が所属し、白球を追いかけています。ボランティアや保護者、OBが指導する地元密着のアットホームなチームは、大会でも好成績を取っています。練習は高学年と低学年の2チームに分かれ、レベルに応じたメニューを用意しています。初心者も経験者も大歓迎。いつでも見学、体験を受け付けています。この記事を読んだ東志賀っ子。さあ、グラウンドに集合だ！

いつでも見学・体験受け付け



問い合わせはQRコードより、チームHPの『お問い合わせ』フォームからどうぞ！

主将の亀田壮亮君（6年）は「必ず塁に出てチームに勢いを与えることを意識しています。明るく、強いチームを目指しています」と仲間の加入を期待。ソフトの投手として活躍する近藤万結さん（6年）は「アウトを取るために家族とも練習しています。楽しいメンバーがそろっています」。監督の武藤吉範さんは「技術の上達だけでなく、学年を越えた交流ができます」と話しています。1年生は夏から入団可能。新6年生も大歓迎。練習は土曜日午前と日曜日午後。お楽しみ会など楽しいイベントも満載です。

志賀学童・祝50周年

感謝行事が大盛況

1972年に開所した「志賀学童保育所」が50周年を迎えました。かつて、学童に通った子どもたちが親になり、息子や娘が同じように放課後の時間を過ごす。さらにその先も。児童や卒業生、保護者、学童



今年も素敵な題字に感謝

2022年を締めくくる12月号には2人が、クリスマスをテーマにした可愛い題字のイラストを寄せてくれました。1面の題字は東志賀小3年の浅井希紗蘭さん、この欄の写真の絵は2年の寺村美咲さんの作品です。今年も多くの作品のご応募、ありがとうございました。来年は、どんなイラストが届くか楽しみです。掲載希望者は編集部の鈴木まで電話かメールで連絡して下さい。



はこれからも、笑顔で過ごせる居場所、つながる場であり続けます。「支えてくれた地域への感謝を届けたい」「これからも地域と共に歩みたい」。そんな思いを込めて学童の父母やOB有志は11月13日、記念感謝行事を萩野公園などで企画し、児童の作品や行事の思い出の写真などを展示しました。父母による屋台も並び、名物の焼きそばも復活。地域の住民でにぎわいました。

2023年(令和5年)
1月号(第20号)
発行：東志賀学区
連絡協議会

毎朝の健康つながり体操 ラジオ係バトンタッチ



東志賀
ひいろおず

長引く新型コロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻、物価の上昇…。大変な時代だからこそ、住民同士の支え合いによって、周りへの優しさを持ちながら、明るく楽しく、和気あいあいと生活したいものです。誰かとつながれる場所が、東志賀学区にはある。2023年の新年号は、そんな思いを込めて発行します。(編集部)

当番十年 酒井さんへ感謝の花束

東志賀公園では毎朝、住民が集まり、一緒にラジオ体操をして健康維持と交流を図っています。昨年末、その公園で引退式が開かれました。少し驚きながら、花束を受け取ったのは酒井千代野さん(81)。十年近くにわたって公



ラジオ係を坪内さん(左)に引き継ぎ、花束を受け取る酒井さん(右) (山崎悦男さん撮影)



東志賀公園を拠点に毎月第1土曜日の朝8時半から開かれる健康つながり町そうじはオスメの触れ合いの場です。

健康つながり町そうじ

コロナ禍で交流や運動の機会が減ったことを受け、学区が企画している取り組みです。多世代が集まり、みんなの公

毎月第1土曜日朝
東志賀公園に集まろう!

園をきれいにしています。時間は30分から1時間ほど。申し込み不要。そうじ道具は貸し出します。頑張った

ちびっ子は景品あり

キッズにはご褒美(お菓子など)もあるよ! 次回は2月4日(土)。朝8時半に東志賀公園に集合してください。

後任は坪内さん 「次は自分の番」

園でラジオを流す当番を続けてきてくれました。もう役割は十分果たせた。次の人に譲ることも大事よね。その笑顔には充実感があふれていました。後任のラジオ係に就いたのは坪内大二さん(84)です。毎朝、ラジオを置く酒井さん

を見て「よくやってみえるな」と感心していたそう。「次は自分の番。朝早い仕事をしていたら早起きは苦にならない。健康にとっても良いこと」とバトンを受け継ぎました。夏休みには子ども会が参加し、それ以外の時期も自主的に顔を出す児童がいます。学校とはひと味違う友達との時間はいかが? 体操後、ウォーキングに出かける高齢者グループもいます。開始は朝6時半。多世代でつながる場をつくるため、東志賀公園には年中無休でラジオが流れます。

地域力で住民守る

町内会や地域支えあい活動、防犯パト隊、民生・児童委員…。地元で活躍する団体のメンバーが連携し、道に迷い、困っていた高齢女性を助けた昨年末のエピソードを紹介します。



師走の夜 住民連携

その夜、年の瀬にもかかわらず、東志賀コミュニティセンターには多くの役員さんたちが地域活動の用事で集まっていました。「道に迷ってしまったようです」。買い物帰りに自宅が分からなくなってしまう女性を住民が見つけ、連れてきてくれました。役員さんは情報に詳しい知人や警察に連絡し、「もう大丈夫」と女性を励まし続けます。女性は安心したのか住所を思い出し、帰宅することができました。見事な連携プレーでした。

今月の題字
2023年最初の題字は東志賀小5年の木下暖土君の歌舞伎絵です。凛々しい役者の表情。お正月にぴったりな、かっこいい浮世絵をありがとうございました。題字の応募は編集部の鈴木へ(連絡先は裏面)。

町の英雄 情報求む

2023年も皆さんと一緒に学区の明るい話題をお届けしていきます。身近なニュースや題字のイラストを大募集中です。ぜひ、編集部の鈴木龍司（アーバン第1町内会長）までご連絡ください。
☎110800（3502）3534
専用メール h i g a s h i s h i g a m e r o e s @ g m a i l . c o m

電子版新聞 QRコード



これまでの地域紙「東志賀ヒーローズ」と「ささえあいたより」を読むことができます。



学区防災訓練

備える！



子ども消防隊/AED練習/揺れ体験

地震への備えは、いつするの？ いまでしょ！ 昨年末、学区の防災訓練が開かれました。子どもたちの参加者も多く、真剣な表情でAEDや消火器の使い方や字んんだり、地震の揺れを体験したりしました。

訓練前には町内会を通じて安否確認の練習もしました。避難時は玄關に「無事です」の札やタオルを掲げると、逃げ遅れた人を素早く確認できます。身を守るために家具の固定も重要です。

楽しく学べる訓練を企画、運営してくれた防災委員会と消防団の皆さん、本当にお疲れ様でした。

お願い！ 備蓄/避難法確認/家具固定



心意気で活動 防犯パト隊

25日住民合同パト 一緒に歩きませんか？



うちのパパとママは… 憧れの消防団員！

「マジかっ！」「大人になったら、僕もやる」。防災訓練で放水を実演した消防団に、子どもたちが歓声を上げていました。

この記事を読んだパパ、ママ。子どもの憧れの消防団員になりませんか？ 仕事や家庭の都合を尊重し合い、和気あいあいと活動しています。問い合わせは犬飼邦雄団長へ。☎090（3254）8920

学区の防犯パトロール隊の皆さんは昨年末も、特別警戒の任務に当たってくれました。心意気で活動する隊員が「気軽に顔を出してほしい」と呼びかけるのが、奇数月の25日に開く夜間合同パト

ろールです。夜6時50分に稚児宮公園で集まり、地域を1時間ほど歩いて回ります。申し込みは不要で、飛び入り参加を大歓迎。程よいお散歩になり、参加賞として市指定のゴミ袋ももらえます。子育て世代にも好評です。振るってご参加を！

飛び入り歓迎 粗品あります

ソフト&野球 児童を大募集

東志賀ジュニアクラブは仲間の児童を大募集中。大会への出場のほか、お楽しみ行事も満載。問い合わせはQRコードより、チームHPの「お問い合わせ」フォームから。

